

1. 単元名 「平和のとびらカード」を作って、平和の感想交流会をしよう
教材：「一つの花」(今西祐行、光村図書)

2. 言語活動とその特徴

○本単元では、「C 読むこと」の言語活動例「ア 物語や詩を読み、感想を述べ合うこと」に対応する言語活動として、「平和」をテーマにした本を選んで読み、「平和のとびら」にまとめた「心に残った言葉や文」と、それを選んだ「理由」「題名に込められた作者の思い」などを、クラスのみならずと交流をするという活動を行うこととする。クラスで交流した後、図書館でも展示し、読書の輪を広げていく。本を読んだ人に、感想を付箋に書いてカードに貼ってもらうことで、本を読んで自分の考えや感じたことを伝える楽しさを味わい、さらなる読書活動につなげていくことも期待したい。

○この言語活動を通して、「C 読むこと」の指導事項「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述を基に想像して読むこと。」「オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気づくこと。」を身につけさせることができると考える。

①表紙

題名、作者名、登場人物、さし絵(物語を表す絵、※本の挿絵をコピーしてもよい)

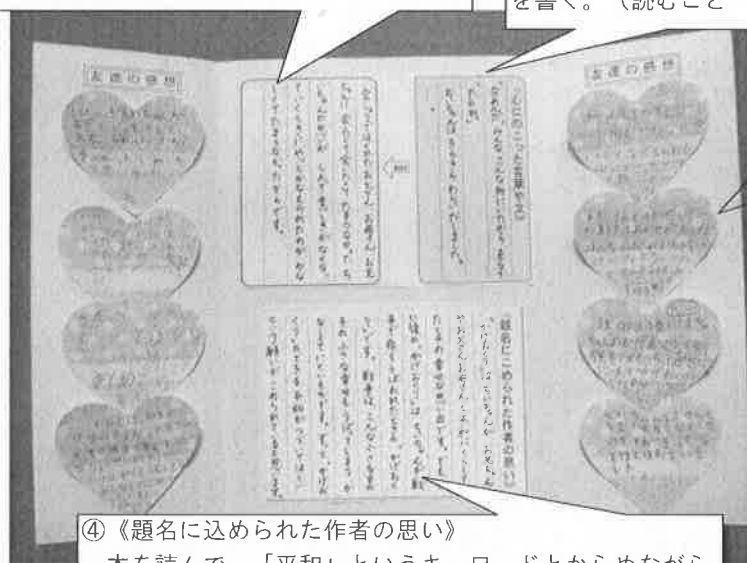


③心に残った理由

気持ちの変化や場面の移り変わりを基に心に残った理由を書く。(読むこと ウ)

②《心にのこった言葉や文》

登場人物の気持ちの変化や場面の移り変わりなどの叙述から、心に残ったものを書く。(読むこと ウ)



⑤《友達からの感想》
自分の感想と比べながら書く。

④《題名に込められた作者の思い》

本を読んで、「平和」というキーワードとからめながら自分が考えたことを書く。交流することで、一人一人の感じ方の違いに気づくようにする。(読むこと オ)

3. 単元について

(1) 児童について

4月教材「白いぼうし」では、「登場人物の人柄をとらえ、つづき話を書こう」という言語活動を行った。その際、「C 読むこと」の指導事項ウの「登場人物の性格や気持ちの変化」に重点を置いて学習した。子どもたちは、複数の叙述から松井さんの「思いやりがある」「明るい」「いたずらっこ」などの多面的な人柄をとらえることができた。しかし、複数の叙述をつなげて考えたり根拠を説明したりするところまではできていない。また、前単元「動いて、考えて、また動く」の学習では、一番興味を持ったところを引用するのに、数名的外れの部分を選んでいく児童がおり、話題の中心をとらえきれない実態もあった。一方、指導事項オの「1人1人の感じ方について違いのあることに気づくこと」については、同じ所に興味を持っていても理由が違うことや、興味を持ったところは違っても理由が同じであることなどに数名の子が気づき、クラスに広めることができている。しかし、友達が書いたものに対して、「いろいろ書いていてよかったです。」「詳しく書いていてよかったです。」等、具体性に欠けた感想しか持てない子が多い。

(2) 教材について

教科書教材「一つの花」とともに、9冊の戦争や平和について書かれた物語を扱う。「一つの花」は、ゆみ子に対する両親の思いが「一つだけ」というキーワードを軸に人物の行動として表現され、出来事が展開する。戦争中と「十年後」の戦争後の場面の移り変わりを捉えるのはもちろん、父母のゆみ子に対する思いを叙述に即して読ませたい。また、「一つの花」という題名が象徴するテーマを巡って、様々な角度から着目することができるため、人との考え方、感じ方の違いへの気づきを促すことができると思われる。並行読書として選んだ9冊の本は、教科書で推薦されている絵本を中心に選定した。いずれも「一つの花」で学習して身につけた力を使って読み、自分なりの感想を持てるものである。

(3) 指導について

単元に入る前の準備として、教室に平和の本コーナーを設定し、朝読書や休み時間などを活用して読めるようにする。読みの傾向をつかむために付箋に本の題名と自分の名前を書いて座標軸（横：心に残った度、縦：作者の伝えたいことが分かる度）に貼らせ、後の紹介する本の選定に活かす。

単元の導入では、「平和のとびらカード」を作って平和の感想交流会をする」という課題を明らかにし、「一つの花」の読みを、選んだ平和の本の読みでも活用しながら学習を進める。児童とともに学習計画を立て、この学習を通してどのような力をつけるのかを確認する。「一つの花」では、場面と場面を関連づけて読むことができるよう文章全体を一覧できるようにした掲示物や学習シートを活用する。自分がどの場面でのどのような感想を持ったのか、それはどの叙述や経験からくるものなのかを記入させたり付箋を貼ったりして、自分の読みを明らかにさせる。また、一人では読み取りが十分でない子もいることが考えられるので、友達と交流させることで、読みを深めたり広げたりさせたい。その際、どのように交流し、どのような感想の持ち方をすればよいか分かるような場の設定を工夫する。

4. 単元の見直し

◎戦争と平和について書かれた物語を読み、場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化を想像して読んだり、物語を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気づいたりすることができる。（読むことウ、オ）

5. 単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】	【読む能力】	【言語についての知識・理解・技能】
心に残った叙述を紹介するため、本をくり返し読むなどして作品を味わったり、心に残った理由を紹介し合ったりしようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 心に残った叙述を紹介するため、場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化に着目して読んでいる。(ウ) 物語を読んだ感想が、どの叙述に基づいているかを明らかにしながら発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気づいている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> 様子を表す言葉について考え、表現するときに必要な語句を増やしている。 <p style="text-align: right;">イ(オ)</p>

6. 仮説とのかかわり

【研究仮説】

昨年度まで、研究してきた板書とノート指導との一体化・人権が尊重される授業づくりの具体的なポイントを継続し、青江小学校学力観を意識した青江小スタイルの授業づくりを行っていくことで、本校が大事にしている青江小学校学力観にふさわしい力が育成されるであろう。

○板書とノート指導について

- ・物語を場面の变化や登場人物の気持ちの変化を見通せるような、全文掲示や全文シートを活用する。
- ・自分の考えと、友達と交流したことによる新しい気づきが書けるようなワークシートを工夫する。

○人権が尊重される授業づくりについて（生徒指導の三機能と関連して）


	ねらい	ポイント	取り組み
自己存在感	「授業に参加している」と実感させる	・授業の流れの体系化	○授業の流れを知り、進んで活動ができるようにする。
共感的人間関係	「共に学び合う仲間だ」と実感させる	・他者の発言や作品の良さに気づかせる	○自分の考えを交流することにより、「違って面白いね」「自分は気づかなかったな」「考えが広がったよ」などのふりかえりが持てるようにする。
自己決定	課題に対して自分の考えと持たせる表現方法を選択させる	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態をふまえて、内容に応じた表現方法を提示する。 ・相手や内容に応じた表現ができるよう、多様な表現スキルを提示する 	<ul style="list-style-type: none"> ○どのように考えたことを表現すればよいか、ポイントを明示したり、モデルを示したりする。 ○「平和のとびら」カードの色、絵、レイアウトを読み取った内容に合わせて選ぶ。

○青江小学校学力観と青江小スタイルとの関わり

観点	ねらい	具体的な方法
学ぼうとする力	《自分の力に気づき、エネルギーを出す》	学んだこと・知ったことを使おうとする。自分が持っている力に気づき出そうとするなど自分自身のエネルギーをもち、やろうという気持ちになる。
人とつながろうとする力	《共に学ぶ・まねる》	苦手な人と一緒にしていこうという気持ちをもって行動する、難しい人に自分の知恵を少しずつ伝える、人がしたことをまねするなど、共に学ぶことができる。
ねばり強く、がんばろうとする力	《ねばり強い力をつける》	継続して取り組むことができたり、あきらめずやり通そうとしたりできる人を作る。

観点	ねらい	具体的な方法
学ぼうとする力	《自分の力に気づき、エネルギーを出す》	○「一つの花」で、自分の考えたこと・疑問を付箋に書かせる。疑問を解きながら、場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を読み取らせる。
人とつながろうとする力	《共に学ぶ・まねる》	○自分の書いたものを、複数のペアで交流し、「なるほど」「そうだなあ」「自分はこう思う」と思ったことを書き加え、相手にも伝え合わせる。 ○同じ本を選んだ者どうして相談する場を持つ。
ねばり強く、がんばろうとする力	《ねばり強い力をつける》	○「一つの花」で学んだことを使って、自分が選んだ平和の本の「平和のとびら」カードを自力で作らせる。

7. 指導計画（全9時間）

次時	主な学習活動	指導・支援	評価規準
①	<div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 大きいめあてを知り、学習の見通しをもとう。 </div> <p>1, ゴールと学習計画を知る。</p> <p>2, 「一つの花」を聞き、考えたことや疑問を持つ。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 事前に平和の本コーナーを設置し、自由に読めるようにしておく。ビンゴカードや座標軸の活用で、興味を持たせたり、読みの傾向を掴んだりできるようにしておく。 </div> <p>○学習経験を想起させて関心を持たせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読んだことのある戦争と平和の物語について ・同じ文章を読んでも、読んだ人がそれぞれに心に残るところが異なったり、その理由が異なったりすることの面白さ。 <p>○これからの学習の見通しと意欲を持たせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「平和のとびら」カードを作って、平和の感想交流会をしよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が作った「ちいちゃんのかげおくり」の「平和のとびら」カードを紹介し、ゴールをイメージさせる。 ・「一つの花」で「平和のとびら」カードの作り方を学び、自分の選んだ本で実際作り、紹介し合う感想交流会を行うことを知らせる。 <p>○「一つの花」の範読をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「登場人物の行動や会話」から「分かる気持ち」と、「疑問に思ったこと」を書かせ、次時につなげる。 	<p>〔関〕 心に残ったことを相手に伝えることに関心を持ち、戦争と平和について書かれた物語を読んで感想を伝えたいという意欲を高めている。</p> <p>〈ビンゴカード・付箋〉</p>
② ③	<p>【一つの花】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 物語の設定や、物語の展開、登場人物の気持ちの変化を読み取ろう。 </div> <p>1, 物語の設定と展開を確認める。</p> <p>2, 登場人物の気持ちの変化を考える。</p>	<p>○本時のめあてと学習の流れを確認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想を明確にするために読んでいくことを確認する。 <p>○【物語の設定と展開】を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争中と戦後の違いを対比させながら確認していく。「世の中の様子」「お父さん」「お母さん」「ゆみ子」について表に整理していく。 ・戦争中の言葉は、写真などをつかって説明する。 <p>○登場人物の気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で子どもから出された「登場人物の行動や会話」から「分かる気持ち」と「疑問に思ったこと」を出させながら、場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を関連させながら読んでいく。 	<p>〔読む〕 叙述を基に場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化をみる。〈発表、全文シート〉</p> <p>〔言イ（オ）〕 様子を表す言葉を置き換えると様子がどのように違ってくるか分かる。〈発表〉</p>
④	<p>【一つの花】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 心にのこった言葉や文を見つけ、その理由をはっきりさせよう。 </div> <p>1, 心に残った言葉や文を見つける。</p> <p>2, 選んだ理由を考える。</p>	<p>○本時のめあてと学習の流れを確認める。</p> <p>○心に残った言葉・文を見つけさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれのどんな言葉や様子が問いかけ、人物に注目させる。 <p>○その言葉や文を選んだ理由を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだところの登場人物の気持ちが、場面の移り変わりによってどのように変わってきたのか、または変わっていくのかも考えながら書くように促す。 ・全文掲示に、自分が選んだ心に残った言葉や文に自分お名前を書いた付箋を貼らせ（ゆみ子、お父さん、お母さんで色を変える）、次時につなげる。 	<p>〔読む〕 叙述を基に想像して読み、場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化に着目して心に残った言葉や文とその理由を書いている。〈ワークシート〉</p>
⑤	<p>【一つの花】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 心にのこった言葉や文と、その理由を友だちと交流しよう。（本時） </div> <p>1, 同じ人物を選んだ友だちと交流する。</p> <p>2, 交流した感想を発表する。</p>	<p>○本時のめあてと学習の流れを確認める。</p> <p>○交流の目的と方法を知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者がモデル提示をして、方法を理解させる。 ・同じ人物を選んだ者どうしてペアになって、選んだ言葉や文とその理由を伝え合わせる。 ・「なるほど・そうだなあ」と思ったこと、「そうかなあ・こう思うよ」「他に、こう思うよ」を自分のワークシートに書き加え、相手に伝える。 <p>○交流の感想を発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に心に残ったことを数人に発表させる。 	<p>〔読オ〕 交流した友達の書いたものについて、自分の感想（共感・疑問・その他の考えなど）をワークシートに書いている。〈交流の様子、ワークシート〉</p>
⑥	<p>【一つの花】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 題名にこめられた作者の思いを考えて交流しよう。 </div>	<p>○本時のめあてと学習の流れを確認める。</p> <p>○なぜこの題名なのか、前時の交流したワークシートや全文シートを手がかりに考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が作った「ちいちゃんのかげおくり」では、どのように書かれているか確かめる（始めのかげおくりと最後のかげおくり 	<p>〔読む〕 複数場面を関連づけて場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を捉え、作者の思いを書いている。</p>

	<p>1, 自分の考えを書く。</p> <p>2, 友達と交流する。</p>	<p>とちいちゃんの気持ちの変容をつなげている)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平和」というキーワードと題名に使われている言葉を必ず入れるようにさせる。 ・戦争と平和の本はたくさんあるが、この物語で伝えたいことを考えるように促す。 <p>○班で交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の良いところを取り入れて自分の書いた文を見直させる。 	<p>〈ワークシート、交流の様子〉</p>
⑦	<p>【自分が選んだ本】</p> <p>心にのこった言葉や文を見つけ、その理由をはっきりさせ、「平和のとびら」カードにまとめよう。</p> <p>1, 心に残った言葉や文と理由を書く。</p> <p>2, 同じ本を選んだ友達と交流する。</p>	<p>○本時のめあてと学習の流れを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ本を選んだ子どもでグループにさせておく。 <p>○心に残った言葉や文を見つけさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文をもう一度読み返しなが、付箋を貼っていく。 ・付箋を貼った中から、一番心に残った言葉や文を選ばせる。 <p>○その言葉や文を選んだ理由を考え交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだところの登場人物の気持ちが、場面の移り変わりによってどのように変わってきたのか、または変わっていくのかも考えながら書くように促す。 ・「なるほど・そうだなあ」と思ったことを自分のワークシートに書き加え、相手に伝える。 ・友達の良いところを取り入れて自分の書いた文を見直させる。 	<p>〔読む〕 叙述を基に想像して読み、場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化に着目して心に残った言葉や文とその理由を書いている。〈ワークシート〉</p>
⑧	<p>【自分が選んだ本】</p> <p>題名にこめられた作者の思いを考えて、「平和のとびら」カードにまとめよう。</p> <p>1, 題名に込められた作者の思いを考えて書く。</p> <p>2, 同じ本を選んだ友達と交流する。</p>	<p>○本時のめあてと学習の流れを確認する。</p> <p>○なぜこの題名なのか、前時の交流したワークシートや本文を手がかりに考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平和」というキーワードと題名に使われている言葉を必ず入れるようにさせる。 ・戦争と平和の本はたくさんあるが、この物語で伝えたいことを考えるように促す。 <p>○グループで交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の良いところを取り入れて自分の書いた文を見直させる。 	<p>〔読む〕 複数場面を関連づけて場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を捉え、作者の思いを書いている。</p>
⑨	<p>【自分が選んだ本】</p> <p>「平和のとびら」カードを使って、平和の感想交流会をしよう。</p> <p>1, 違う本を選んだ友達と交流する。</p> <p>2, 学習のまとめをする。</p>	<p>○本時のめあてと学習の流れを確認する。</p> <p>○平和の感想交流会の方法を知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違う本を選んだ子どもでグループにしておく。 ・1人ずつ順番に発表する。 ・発表した都度、感想を付箋に書き、発表した友達に渡す。 <p>○学習を通しての感想を発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返り、物語のとらえ方や感想は様々であることや、その面白さに気づかせる。 	<p>〔読む〕 1人1人の感じ方やその根拠の違いに気づいて付箋に書いている。〈交流の様子、付箋〉</p>

7. 本時案 (5 / 9)

(1) 題 目 「一つの花」の心に残った言葉や文とその理由を友達と交流して、自分の考えとくらべよう

(2) 主 眼

読み取り方の違いを、“心に残った言葉や文”と“理由”を書いたワークシートを読み合ったり感想を出し合ったりすることにより気づくことができる。〔読むことオ〕

(3) 展 開 (45分)

学 習 活 動	時	指 導 ・ 支 援	備 考 ・ 評 価
1. 本時のめあてと学習の流れを確かめる。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のめあてと学習の流れを確認する。 ・ 同じ作品を読んでも、心に残る場面やその理由は読んだ人それぞれ違うことと、それを交流することで自分の読みが豊かになっていくことを振り返らせ、交流したいという意欲を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆・・・準備物 ★・・・評価 ☆全文掲示
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 心に残った言葉や文とその理由を友達と交流して、自分の考えとくらべよう。 </div>			
2. 教師のモデルを見て、交流の仕方を知る。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師 (T 1、T 2) のモデルで、交流の進め方を示し、どの児童もスムーズに交流ができるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ①自分のワークシートを指で指し示しながら伝える。 ①交換してお互いの書いたものをじっくり読んでから、「なるほど・そうだなあ (共感)」 「そうかなあ・こう思うよ (疑問)」 「他にも、こう思うよ (意見)」 と思ったことを自分のワークシートに書く。 ③書いたことを伝え合う。 ④お互いにお礼を言って、次の交流を始める。 </div>	☆教師の書いたものの拡大版
3. 同じ人物を選んだ友達と交流する。	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ人物を選んでいる子どもどうしでグループ (4人組) を作っておく。 ・ 子どもの書いた物を事前に見て、交流させたい相手 (同じ箇所で見方をしていているところがある子どもどうしや、違う箇所で見方をしていている子どもどうし) を把握しておき、グループ編成する。 ・ 交流を行う時は、ペアで3回行わせる。 ・ 時間の目安を提示する。 (1回5分程度) ・ 3回目の交流の時は、席を入れわって隣になるようにする。 ・ 何を書いてよいか分からない子には、自分と比べて同じところ違うところを見つけるように声をかけ、話型を使うように促す。 ・ 机間観察をして、全体の場で発表させたい子を見つけておく。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ☆交流の仕方カード ★〔読才〕 交流した友達の書いたものについて、自分の感想 (共感・疑問・その他の考え等) をワークシートに書いています。〈交流の様子、ワークシート〉
4. 交流したことを発表する。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流したことを発表させる。 ・ 友達との交流により自分が考えていなかった新たな読みや、新たな気づきがあったことを数人に発表させる。 	
5. 学習を振り返る。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の交流を通して、自分の考えと比べて同じ所や違うところに気づいたか振り返らせる。 ・ 広がったり深まったりしたことを活かして、次時の“題名に込められた作者の思い”を考えることを知らせる。 	

「つひの花」

月 日 番()

めあて

心に残った言葉や文とその理由を友達と交流して、自分の考えとくらべよう。

交流した人

感想の持ち方

- ◎ 「○○。」と書いているところが、
 - ① 同じだなと思いました。……………。
 - ② なるほど・そうだなあと思いました。……………。
 - ③ そうかなあ・ちがうんじゃないかなあと思いました。
わたしは△△と思いました。……………。
- ◎ ④ 他にもっと□□という気持ちもあるんじゃないかと思いました。

ふりかえり

平和の本ビンゴカード

～「一つの花」並行読書～

年 組 番 名前 ()

《方法》

- 教科書で紹介されている本（8冊）と大分にまつわる平和の本（1冊）を読みましょう。
- 読んだ本のわくをクーピー等で色ぬりしたり、さし絵をかいたりしましょう。
- たて、横、ななめでそろったらビンゴです。
- 全ビンゴ達成するよう挑戦しましょう！
- わくの中の①→読んで心に残った度、②→筆者の伝えたいことが分かる度を、
「◎、○、△、」で表す。

<p>「すみれ島」 (今西祐行)</p> <p>① ②</p>	<p>「おかあさんの 紙びな」 (長崎源之助)</p> <p>① ②</p>	<p>「オットー」 戦火をくぐったテディベア (トミー＝ウンゲラー)</p> <p>① ②</p>
<p>「せかいの ひとびと」 (ピーター＝スピアー)</p> <p>① ②</p>	<p>「ひろしまのピカ」 (丸木 俊)</p> <p>① ②</p>	<p>「おきなわ 島のこえ」 (丸木俊・丸木位里)</p> <p>① ②</p>
<p>「せかいで いちばん つよい国」 (横塚真己人)</p> <p>① ②</p>	<p>「千ロヌッフの きつね」 (たかはしひろゆき)</p> <p>① ②</p>	<p>「ムッちゃん」 (中川正文)</p> <p>① ②</p>

平和の本を読もう

作者の伝えたいことがわかる

平和の本

(1,1)	(1,2)	(1,3)
(2,1)	(2,2)	(2,3)
(3,1)	(3,2)	(3,3)